

令和5年度 大阪市港区弁天町駅周辺まちづくりビジョン策定支援等業務委託  
にかかる公募型プロポーザルによる選定結果について

1 案件名称

令和5年度 大阪市港区弁天町駅周辺まちづくりビジョン策定支援等業務委託

2 選定した受託予定事業者

中央復建コンサルタンツ株式会社

3 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿(敬称略)(五十音順)

下山 陽介 氏 (SKR 代表 経営コンサルタント)  
田中 晃代 氏 (近畿大学 総合社会学部総合社会学科 教授)  
吉田 長裕 氏 (大阪公立大学 工学研究科 准教授)

(2) 選定委員会の開催日

令和5年5月8日(月)

(3) 選定基準・選定方法

別紙のとおり

(4) 審査を行った事業者(参加事業者数 1社)

・ 中央復建コンサルタンツ株式会社

※ なお、本事業への参加申請は、上記事業者を含め2法人からあり、資格審査を経て選定会議への参加を決定していたが、1法人が企画提案書提出前に辞退されたため、上記1法人での選定を行った。

(5) 審査の結果(選定委員の評価点の合計点)

審査の結果は、別表のとおり

(6) 選定委員の講評

提案内容から見て、本業務の受託先として期待される資質と能力を満たしていると判断できる。

ただし、本業務の実施にあたり、以下の点に留意すべきである。

- ・ 提案は具体性があり、しっかりと考究されているが、本業務の性格を考えると、当初に設定される業務計画に拘泥せず、住民や地域のニーズを的確に把握しながら、状況に応じて、適宜変更・修正するなど柔軟に対応していくことが求められる。
- ・ 万博開催までの期間が短いなか様々な検討を進める必要があるが、何を着実に進めていくべきなのか優先順位のつけ方が重要である。地に足の着いたビジョンを持って検討を進め

るとともに、万博以降の中長期的な視点にも立って、後戻りしない中身となるよう、区と連携協働して検討を進めることも必要である。

- ・ 今回の提案では、ビジョンの策定自体は問題なく進められそうだが、それをいかに実現していくのかというプロセスや制度活用についての説明が十分にされていない。社会実験の提案などもあったが、万博を契機にしたまちづくりの機運を高めるよう区民等による大きな動きを起こしていくことも必要である。また、本業務での検討会だけでなく、港区には若手など様々な活動の担い手となる人も多いので、そういった実際に活動されている方を巻き込み、公民連携の考え方に沿って検討を進められるよう、プロデュースやマネジメントする人も必要である。このような観点からハードのみならず、ソフトの両面にわたり区と十分連携協働して検討を進めてほしい。